

インフルエンザワクチンの接種について

インフルエンザの予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、裏面の予診票に出来るだけ詳しくご記入下さい。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者がご記入下さい。

〔ワクチンの効果と副反応〕

予防接種により、インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くすることが出来ます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。

一方、副反応では、注射部位が赤くなる、腫れる、痛くなるなどの局所反応や、発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、嘔吐などの全身反応もまれに起こることがありますが通常は2～3日中に消失します。また、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、あるいは肝機能障害、黄疸、喘息発作の症状が現れるなどの報告があります。非常にまれですが、ショックや蕁麻疹、呼吸困難などが現れることもあります。また、強い卵アレルギーのある方は強い副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出てください。

〔接種不相当者（接種を受けることが出来ない者）〕

次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはいけません。

1. 明らかな発熱を呈している者
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
3. 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者
4. 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

〔接種要注意者（接種の判断を行うに際し、注意を要する者）〕

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当すると認められる場合には、注意して接種しなければなりません。

1. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな者
2. 前回の予防接種で2日以内に発熱のみられた者又は全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者
3. 過去にけいれんの既往のある者
4. 過去に免疫不全の診断がなされている者
5. 気管支喘息のある患者
6. 本剤の成分又は鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対して、アレルギーを呈する恐れのある者

〔ワクチン接種後の注意〕

1. 予防接種後30分間は、なるべく医療機関にとどまり、様子を観察しましょう。
2. 予防接種を受けた日は、入浴しても差し支えなく、接種部位を清潔に保ってください。また、いつも通りの生活をし、激しい運動は避けて下さい。
3. 予防接種をした部位が赤くなったり、腫れたり、痛んだり、軽い発熱などが起きることがあります。もし、局所の異常反応や体調の変化さらに高熱、けいれん等の異常な症状が生じて場合には、速やかに医師の診察を受けて下さい。

ご不明な点・ご質問がありましたら、御遠慮なくお申し出ください。



葛が谷つばさクリニック

TEL 045(945)2772